

# 文京区アカデミー推進計画策定協議会

## 第2回 観光分科会 次第

日時：平成22年7月2日（金）18:30～20:30

於：文京シビックセンター10階 1001会議室

- 1 開会
- 2 はじめに
- 3 計画の体系の検討
- 4 分野別計画骨子（案）の検討
- 5 観光分野事業（案）の検討
- 6 閉会

《配布資料》

【資料観光－第6号】「アカデミー推進計画」観光分野の体系（案）

【資料観光－第7号】分野別計画骨子（案）

【資料観光－第8号】「アカデミー推進計画」観光分野事業（案）

## 「アカデミー推進計画」観光分野の体系（案）

柱		施策
1	まちあるきを中心とした資源の発掘・活用・創出	(1) 文の京の誇りとなるまちなかの魅力発掘と磨き上げ
		(2) 文の京を分かりやすく伝えるストーリー性ある観光コースづくり
		(3) 「学び」の要素と連携した文の京ならではの新しい魅力づくり
		(4) まちあるきを誘発する「文京ブランド」の構築
2	まちあるきや交流のための環境づくり (柱2、柱3を統合)	(1) 安全・安心でやさしいまちを実現する環境づくりの推進
		(2) 区内の回遊性を向上させる誘導の仕組みづくり
		(3) 区民や来訪者の交流充実に向けた環境づくり
		(4) まちあるきイベント等の推進
		(5) MICEの誘致（アフターコンベンションの充実と誘致）
3	観光まちづくりのための情報発信	(1) 「文京区」の知名度向上へ向けた情報発信の強化
		(2) ターゲットを明確にした効果的な情報発信の推進
		(3) メディアの有効活用による「文京区」の積極的なPR
		(4) 情報通信技術を活用した情報発信の推進
4	観光まちづくりのための人材育成と体制づくり	(1) 文の京の魅力を伝える人材等の育成
		(2) 観光まちづくりに携わる団体・人材の発掘と活用
		(3) 文の京全体としてのホスピタリティの醸成
		(4) 様々な主体が連携して取り組む体制づくり

## ※「観光ビジョン」の体系との相違点

## ①ビジョンの「柱2」と「柱3」を一つにまとめ施策を整理

- 柱2と柱3は、まちあるき誘発の仕組みを「ハード面」と「ソフト面」でまとめており、柱を少なくし分かりやすくする為、「まちあるきや交流のための環境づくり」と一つに括る。
- 柱2の施策1「文の京らしい景観づくりの推進」は、都市計画関連部署で取り組んでいることも多い為、一つの施策として立てずに「安全・安心でやさしいまちを実現する環境づくりの推進」等で取り扱うとともに、景観意識の醸成の点では人材育成の施策等において取り扱う。
- 柱2の施策4「区民の生活に配慮したまちあるきの仕組みづくり」は、個別の施策とするよりも、まちあるきコースづくり等の施策において各種事業を推進するために配慮すべきこととして全体的に記載していく為、個別の施策としては削除する。

## ②ビジョンの「柱3」において、「文京区の知名度向上」の意味合いを強める

- 個々の観光資源や「文京区」そのものに知名度はあるが、観光分野では「文京区」のブランド力が弱いのが現状となっている。今後、観光面で「文京区」のイメージやブランド力向上を目指した知名度向上の取り組みを推進する姿勢を示す為、施策名に「文京区の知名度向上」を追加する。

## ③ビジョンの「柱6 観光推進体制の構築」の削除

- 推進体制部分は、各分野別計画で記載せず「アカデミー推進計画」全体において記載する方向で検討中の為、全体としては観光分野からは削除するが、「観光まちづくりのための人材育成と体制づくり」の中に、推進体制強化の項目として「様々な主体が連携して取り組む体制づくり」を追加する。

## 分野別計画骨子（案） 観光分野

### ■目標(ビジョンから)

- ・ 四季折々の魅力をもった文の京
- ・ おもてなしの心溢れる文の京
- ・ 歴史と文化を大切にする文の京

### ■基本方針(ビジョンから)

- ①まちあるきを促進することにより文化・産業を活性化する
- ②住んでみたい、住み続けたいまちを実現する
- ③多様な主体がそれぞれ担い手となる
- ④「文京区」の知名度を向上する

### ■タイトル(「理念」ビジョンから)

「行ってみたい、来てほしい、文の京」

#### ※参考：「基本構想」観光分野

#### 将来像 「何度も訪れたい、魅力とおもてなしの心あふれるまち」

豊かな観光資源を活用し、四季折々の文京区の魅力を発掘・発信することで、訪れた人に「何度も行ってみたい」と思われるまちを目指します。また、区民一人ひとりが温かくお客様を迎えるおもてなしの心を持つことで、「いつでも来て欲しい」と誇れるまちを目指します。

※「アカデミー推進計画」の観光分野部分において記載されるのは、「タイトル」のみの予定。

## 1 まちあるきを中心とした資源の発掘・活用・創出

【現状と課題】 調査結果や分科会での意見、現況整理データ等から課題をまとめる(10行~12行程度)。

### ◆ 現状

- ・ 本区は、伝通院や根津神社等の寺社、漱石や鴎外等の文人などに係る史跡・旧跡、小石川後樂園や六義園等の庭園など、全国に誇れる歴史的・文化的資源が数多く点在しています。
- ・ そのような特性を活かし、区内の博物館・美術館・庭園などを結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」を構築し、ネットワークマップの作成や合同イベントの開催、大学と連携した講座「文京アカデミア」の開催などの取り組みを推進しています。
- ・ また、まちあるきの一つの楽しみとして、食事やお土産なども重要であるため、区では、「食の文京ブランド100選」など文京ブランドの取り組みを進めています。
- ・ 区民や区内事業者、来訪者に対して実施したアンケート調査（「文京区観光ビジョン基礎調査」平成21年3月）においても、それぞれ本区のイメージとして「歴史や文化の香り高いまち」や「大学などの教育機関の多いまち」が多くなっています。
- ・ このように、本区は、区内外から歴史や文化、教育のまちというイメージを強く持たれていますが、数多くある資源やその資源が持つ歴史的な背景などが区民や来訪者へ十分に伝わっていなかったり、それらの資源を楽しむための仕組みができていなかったりするなどの問題も抱えています。また、本区の資源には、区民の日常生活エリアに立地しているものもあり、区民生活への悪影響も懸念されています。

### ◆ 課題

- ① 既存の資源の認知や魅力向上をはじめ、新たな資源の発掘・創出を図っていくことが求められます。
- ② 本区の資源の魅力をより高めるために、テーマや地域など様々な視点で組み合わせ資源の付加価値を高めていくことが求められます。
- ③ 本区の特徴である教育機関や美術館・博物館などとの連携を強化していくことが求められます。
- ④ 歴史的・文化的資源以外にも、本区ならではの「食べる」、「買う」、「体験する」などの魅力も高めていくことが求められます。

【基本的な方向】 文京区様の方針や分科会等での意見等から基本的な方向性をまとめる(3行~5行程度)。

#### (1) 文の京の誇りとなるまちなかの魅力発掘と磨き上げ

- ・ 本区の魅力をさらに高めていくために、区民自らが地域の魅力を発掘し、魅力を高めていく取り組みを推進します。

**期待される効果** 期待される効果を2つ程、簡条書きで挙げる。

- ・ 歴史や文化的な資源の魅力向上により、新たな観光客の誘客や文京区のイメージ向上が期待されます。
- ・ 本区の魅力に対する区民の認知拡大や観光まちづくりへの参画の促進により、区民

の区に対する愛着や誇りが高まることが期待されます。

## (2) 文の京を分かりやすく伝えるストーリー性ある観光コースづくり

- ・ 区民や来訪者が、本区の資源を楽しめる機会の創出へ向けて、歴史や文化、文人など多種多様な資源の魅力を最大限活かしたまちあるきなどのツアーづくりを進めます。
- ・ また、ツアーなどを企画・運営する際は、施設等の周辺住民の暮らしに悪い影響が及ばないように配慮します。

### 期待される効果

- ・ 本区の観光資源の魅力向上により、新たな観光客の誘客や文京区のイメージ向上が期待されます。
- ・ 本区の魅力に対する区民の認知拡大や観光まちづくりへの参画の促進により、区民の区に対する愛着や誇りが高まることが期待されます。

## (3) 「学び」の要素と連携した文の京ならではの新しい魅力づくり

- ・ 区内の教育機関や美術館が多く立地するという特性を活かした「文の京」らしい魅力創出へ向けて、地域のネットワークの強化とネットワークを活かした取り組みの活発化を進めます。

### 期待される効果

- ・ 観光まちづくりの面における教育機関や美術館などとの連携の強化が期待されます。
- ・ 本区の魅力に対する区民の認知拡大により、区民の区に対する愛着や誇りが高まることを期待されます。

## (4) まちあるきを誘発する「文京ブランド」の構築

- ・ 食や買い物などに関する新たな「文京ブランド」の創出へ向けて、商店街や伝統工芸など地場産業と連携した取り組みを進めます。

### 期待される効果

- ・ 商店街や伝統工芸などの産業にかかわる事業者の観光まちづくりへの参画が高まることを期待されます。
- ・ 観光客の増加や新たな「文京ブランド」の創出により、商店街や伝統工芸などの産業活性化に寄与することが期待されます。

## 2 まちあるきや交流のための環境づくり

### 【現状と課題】

#### ◆ 現状

- ・ 本区には、歴史的建物や根津・千駄木の街並みなど魅力的な景観が点在しています。区民や区内事業者へのアンケート調査において、観光振興で「重点的に取り組むべき施策」として、「歴史的建造物・美しいまちなみなどの保全・活用・創造」が最も多く挙げられていることから、観光面においても、歴史的資源の保全・活用などが重要視されていることがうかがえます。
- ・ 安心、快適なまちあるきには、歩きやすい空間や地域防災力の向上、ポイ捨て防止など安全・安心なまちづくり、地球環境への配慮が不可欠であり、区では、安全性や快適性が高く、景観面でも優れたまちづくりに努めています。
- ・ 本区は、地下鉄やコミュニティバス「Bーぐる」などの公共交通が充実しているのに加え、レンタサイクルも実施しており、交通便利性の高い地域となっています。コミュニティバスは、ICカードの導入や時刻表の見直し、施設割引特典の付与など恒常的に改善を加えており、平成21年7月1日現在、一日当たり平均1,278人と多くの方に利用されています。
- ・ しかし、東西を結ぶ横断的なネットワークが乏しいなど区内の至るところに点在する観光資源を巡るには不便さも残ります。区民や区内事業者へのアンケート調査においても、観光振興で「重点的に取り組むべき施策」として、「区内の移動手段の充実や観光案内板などまちを歩いて楽しめる環境づくり」が2番目に多く、交通環境や案内などの充実が求められていることがうかがえます。
- ・ また、まちづくりを推進するためには、資源の魅力向上や巡りやすい環境づくりだけでなく、まちあるきに出かけるきっかけづくりをはじめ、交流を通じた人と人との繋がりによるも重要な要素です。そのような取り組みは、区への愛着の醸成やリピターづくりなどに繋がります。区では、史跡や文学などをめぐるまちあるきガイド「おさんぼくん」を発行したり、文京ふるさと歴史館主催で「史跡めぐり」などのイベントを開催したりしていますが、区民同士や区民と来街者の交流、区民や商店街など区内の主体が一体となった取り組みなど、区全体での動きは乏しいのが現状となっています。
- ・ 区内には多くの教育機関などがあり、会議などが多く開催されているという特性がありますが、MICEの誘致に関する取り組みが少ないのが現状となっています。本区は、観光資源などは充実しているものの、会議等の参加者へ向けた情報発信が不足しているなど、「アフターコンベンション」誘致の積極的な取り組みが推進されていないのが現状となっています。

※MICE:会議(Meeting)、報奨・研修旅行(Incentive(Travel))、国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event・Exhibition)のこと。会議等の開催により、来訪者の増大や各種分野への経済効果などが期待されます。

◆ 課題

- ① バリアフリー化をはじめ、緑や歴史・文化的まちなみ保全など、誰もが安心・快適に地域を訪れ、地域を楽しむことができる環境づくりが求められます。
- ② 各交通機関の連携強化など交通ネットワークの充実やわかりやすい案内の提供などを図っていくことが求められます。
- ③ 区民同士、区民と来訪者の交流を促進し、文の京での暮らしの魅力をより身近に感じられるような機会づくりが求められます。
- ④ 様々な種類のまちあるきイベントなどを新たに創出していく担い手づくりや企画・運営の仕組みづくりなどが求められます。
- ⑤ 本区に多く立地する大学等と連携し、学会などの誘致を進めるとともに、学会などへの参加者が本区の魅力を堪能できる仕組みづくりが求められます。

【基本的な方向】

(1) 安全・安心でやさしいまちを実現する環境づくりの推進

- ・ 高齢者や障害者、外国人など、誰もが安全・安心に、かつ快適に区内を巡ることができるよう、安全・安心なまちづくり、人に地球にやさしいまちづくりを進めます。

期待される効果

(2) 区内の回遊性を向上させる誘導の仕組みづくり

- ・ 区内に点在する資源を安全・安心、快適に巡ることができるよう、交通ネットワークの充実や「Bーぐる」と観光施設等と連携した取り組みを推進します。

期待される効果

(3) 区民や来訪者の交流充実に向けた環境づくり

- ・ 歴史や文化に恵まれた文の京での暮らしなど本区の魅力をより深く、身近に感じてもらえるよう、区民同士、区民と来街者との交流の機会づくりを推進します。

期待される効果

(4) まちあるきイベント等の推進

- ・ 区民や来訪者が、本区の魅力に触れるきっかけとなるまちあるきに参加できる機会を増やすために、区内の至るところで、様々なテーマのまちあるきがいつでも行われる環境づくりを推進します。

期待される効果

(5) MICEの誘致（アフターコンベンションの充実と誘致）

- ・ 会議などをきっかけとして、本区の魅力に触れる機会を増やすために、会議後などに本区の観光資源を巡ったり、飲食店などで食事したりできる機会づくりや情報発信などを推進します。

期待される効果

### 3 観光まちづくりのための情報発信

#### 【現状と課題】

##### ◆ 現状

- ・ 本区を訪れてもらうきっかけや回遊を促す要素として、情報発信は非常に重要な役割を果たします。本区では、観光協会を中心に、「観光ニュース」や「おさんぽくん」などの冊子、ホームページ、観光案内拠点「文京区観光インフォメーション」を通じた情報発信などを進めているのに加え、区の魅力を発信するイベントの開催や観光グッズの販売など様々な方法で情報発信を行っています。
- ・ しかし、それぞれの観光資源や「文京区」自体の知名度は高いものの、観光地としての本区のイメージやブランド力はそれほど強くないのが現状となっています。
- ・ 近年、情報通信技術の発展に伴い、様々な団体や個人によるインターネットなどを通じた情報発信が盛んになっています。本区の魅力をより深く、広く発信していくためには、区民や来訪者が、実際にまちあるきした感想やその人ならではの楽しみ方など、いきいきとした情報が付加されることも重要です。
- ・ 本区でも、ホームページを通じた情報発信は行っていますが、携帯端末などを通じた情報発信は、まだ十分には行われていないのが現状となっています。本区は、まちあるきが重要な観光資源となっており、まちあるきしながら情報を得たり発信したりできる携帯端末など新たな情報通信技術の活用は重要です。
- ・ 広く本区の魅力を発信するためには、TVなどのメディアや旅行代理店などエージェントなどとの連携が不可欠となります。メディア等で取り上げられやすくするためには、情報が一元的に整理されいつでも提供できるように整備することが重要ですが、その体制が十分にできていないのが現状となっています。
- ・ また、本区は、昼夜間人口比率が177.4%であるように、観光以外にも、通勤や通学などで訪れる人も多くいます。このように目的だけでなく、年代や性別、嗜好など様々なニーズに合わせた情報発信も重要です。また、来訪者だけではなく、区民自らが本区の魅力を認識することも極めて重要です。

##### ◆ 課題

- ① 観光分野における「文京区」のブランド力やイメージを高めるための効果的な情報発信を積極的に展開していくことが求められます。
- ② 来訪目的などそれぞれのニーズにあわせた情報発信を充実するとともに、区民に対する積極的な情報発信も求められます。
- ③ メディアなどとの連携を強化し、メディアに対して積極的に情報を発信するなど、本区がTVや新聞などに取り上げられるようにしていくことが求められます。
- ④ ホームページを通じた情報発信の充実や携帯端末などの新たな情報通信技術の積極的な活用が求められます。

**【基本的な方向】**

**(1) 「文京区」の知名度向上へ向けた情報発信の強化**

- ・ 区内の魅力を広く効果的に発信していくために、区内の資源に関する情報を集約・整理するとともに、積極的に発信していきます。

**期待される効果**

**(2) ターゲットを明確にした効果的な情報発信の推進**

- ・ 多様化する情報ニーズに対応するために、それぞれの目的やニーズにあった形で情報収集ができるような発信の仕組みづくりを推進します。

**期待される効果**

**(3) メディアの有効活用による「文京区」の積極的なPR**

- ・ 区内の魅力を広く効果的に発信していくために、メディアとの連携強化や積極的なPRを展開します。

**期待される効果**

**(4) 情報通信技術を活用した情報発信の推進**

- ・ 本区の情報を幅広く発信できるよう、携帯端末の活用など情報通信技術の活用を推進します。

**期待される効果**

## 4 観光まちづくりのための人材育成と体制づくり

### 【現状と課題】

#### ◆ 現状

- ・ 区では、豊富な歴史的・文化的資源を踏まえ、生涯学習都市を目指し様々な学習の場づくりを推進してきました。そうした学習成果を活かせる仕組みとして大学と連携し「文京区生涯学習司」や「地域文化インタープリター」の養成講座を開催しています。また、本区では、外国人の受け入れ体制にも取り組んでおり、英語観光ガイドの育成のための英語観光ボランティア育成講座の開催やガイドツアーを実施しています。
- ・ それらの講座を通じて、観光まちづくりにおいて活躍できる人材が生まれてきていますが、そのような人が活躍できる場づくりが十分に進んでいないのが現状となっています。
- ・ 本区では、博物館や庭園などを結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」や大学との連携など、歴史や文化に関する連携した取り組みが進んでいます。しかし、そのた、商店街や事業者など観光まちづくりにかかわる主体も含めた観光の側面からネットワークづくりや連携した取り組みはまだそれほど進んでいないのが現状となっています。また、観光イベントやまちあるきの企画・運営などにおいて、NPO法人などの団体が活躍する場が少ないのが現状となっています。
- ・ 区民へのアンケート調査において、来訪者受け入れの取り組みとして「特になし」が約6割と高くなっています。「あいさつや道案内などを行うよう心がけている」人は15%程度に留まっており、来訪者を受け入れるホスピタリティが高いとはいえない状況となっています。

#### ◆ 課題

- ① 来訪者に対し、区民が本区の魅力をきちんと伝えられるようにするための学びの場づくりが求められます。
- ② 観光の視点で、区民、商店街、教育機関など区内の様々な主体が連携する体制を整えるとともに、それぞれの特性を活かした活躍の場づくりが求められます。
- ③ あらゆる世代の区民をはじめ、事業者などの観光まちづくりに対する意識を醸成するなど、ホスピタリティを高めることが求められます。
- ④ 区や観光協会をはじめ、観光まちづくり団体など様々な団体が、それぞれ主体的に活動することに加え、組織や地域の枠を超えて協力・連携しながら取り組んでいくことが求められます。

### 【基本的な方向】

#### (1) 文の京の魅力を伝える人材等の育成

- ・ 来訪者が本区の魅力を十分に堪能できる環境を整えるため、「文京区生涯学習司」や「地域文化インタープリター」など、文の京の魅力を伝える人材育成の機会づくりを区内の教育機関等と連携しながら推進します。

**期待される効果**

**(2) 観光まちづくりに携わる団体・人材の発掘と活用**

- ・ 地域一体で観光まちづくりに取り組む体制づくりを目指し、区民、商店街、教育機関など、区内の様々な主体が観光まちづくりに積極的に携わる機会づくりを進めます。

**期待される効果**

**(3) 文の京全体としてのホスピタリティの醸成**

- ・ 来訪者に対するおもてなしの気持ちに溢れるまちを目指し、区民や商店街など様々な主体の意識の向上を図ります。

**期待される効果**

**(4) 様々な主体が連携して取り組む体制づくり**

- ・ 観光イベントやまちあるきなどの事業の企画や運営において、様々な団体・人の力が発揮できるよう、団体等のネットワークづくりや連携事業の展開など組織や地域の枠を超えた協力・連携を進めます。

**期待される効果**

## 「アカデミー推進計画」観光分野事業（案）

※分科会や意見シートで出た事業は「●」、その他は「・」で記載。

### ●取り組みの柱1：まちあるきを中心とした資源の発掘・活用・創出

- ・ まちなかの魅力を区民自ら発掘・保全できる取り組みの推進。
- ・ 分かりやすく伝えるために周辺地域の資源も併せ、テーマ別に魅力を選び出し、本区らしいストーリー性あるコースづくりの推進。
- ・ 教育機関や美術館、博物館等の連携を強化し、学びの要素を活かした魅力づくりの推進。
- ・ 本区ならではの魅力を活かした、「食」、「買う」、「体験」に関するブランドづくりの推進。

No.	基本施策	委員より出された事業案等
1	文の京の誇りとなるまちなかの魅力発掘と磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光資源の発掘と魅力開発</li> <li>● 文の京キャラクターづくり</li> <li>● まちのネーミングづくり</li> <li>● 観光名所ハガキの作成・配布（伝統工芸師に作成依頼、フォトコンテスト入賞作品活用）（再掲）</li> <li>・ イベント等の場として歴史的建物などの活用促進</li> <li>・ 地域への愛着や誇りの醸成に向けたイメージやキャッチフレーズづくり（再掲）</li> </ul>
2	文の京を分かりやすく伝えるストーリー性ある観光コースづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化や歴史をテーマにしたまちあるきコースづくり</li> <li>● 自然や地球環境をテーマにしたまちあるきコースづくり</li> <li>● 偉人テーマにしたまちあるきコースづくり</li> <li>● 日本文化を体験するツアーの企画・運営</li> <li>● 外国人向け日本文化体験ツアー・ホームステイの企画・運営（茶道、華道、着付け、礼儀作法、書道、武術、神社）</li> <li>● 伝統工芸等ものづくり現場の見学コースづくり</li> <li>● バスツアーの企画・運営</li> <li>● 隣接区等との連携による広域観光コースづくり（再掲）（池袋の家電販売店、秋葉原と大学院、さくら、巨人（宮崎）、サッカーミュージアム）</li> <li>・ ロケ地巡りツアーマップの作成</li> <li>・ 建築・庭園巡りツアーの企画・運営（参考：オープンハウス：ロンドンで開催している年に一度一般非公開の建物に入場できるイベント）（再掲）</li> <li>・ 「坂」巡りツアーの企画・運営</li> <li>・ 食べ歩きツアー企画・運営（参考：函館バル街）（再掲）</li> <li>・ 古地図を基に江戸時代の文の京を歩くツアーの企画・運営</li> <li>・ 障害者や高齢者向けバリアフリーツアーの企画・運営</li> </ul>

No.	基本施策	委員より出された事業案等
3	「学び」の要素と連携した文の京ならではの新しい魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民向け観光講座(座学やまちあるき)の開催(再掲)</li> <li>・ 「文京アカデミア」の充実</li> <li>・ 大学等との観光まちづくりに関する共同研究等の推進</li> <li>・ 「文京ミュージアム・ネットワーク」の活動促進(合同イベントの開催、割引パスの発行など)</li> </ul>
4	まちあるきを誘発する「文京ブランド」の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「文京みやげ」のPR(再掲)</li> <li>● 観光資源と小売店・飲食店との連携強化(ランチマップ作成)</li> <li>・ 「食の文京ブランド100選」の活用</li> <li>・ 一店逸品活動の支援</li> <li>・ テーマに基づいた文京おススメの選定(ワコイングルメ、健康など)</li> </ul>

### ●取り組みの柱2：まちあるきや交流のための環境づくり

- ・ 文の京らしい景観づくりの推進。
- ・ ユニバーサルデザインや災害時の情報提供などすべての人に優しいまち、地球環境への配慮など地球にやさしいまちの推進。
- ・ 観光の魅力の一つとした住環境の魅力アップ推進、来訪者のマナー向上の推進。
- ・ 交通機関や案内機能(内容、デザイン)の充実。
- ・ まちづくりに取り組む区民等と来訪者の交流、区民同士の交流の促進。
- ・ まちあるきイベントの推進と様々な担い手が活躍できる仕組みづくり。
- ・ 学会等MICE及びアフターコンベンションの誘致の促進。

No.	基本施策	委員より出された事業等
1	安全・安心でやさしいまちを実現する環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● トイレ(トイレマップ)の整備(再掲)</li> <li>● 店舗等でのトイレの提供推進</li> <li>● 寺社等での喫茶・土産店の設置</li> <li>● ベンチの設置</li> <li>● 歩行者専用空間の確保(土日限定で実施)</li> <li>・ 障害者や高齢者向けバリアフリー施設等に関する情報発信(再掲)</li> <li>・ 小さな子ども連れ家族向けのマップやパンフレットの作成(再掲)</li> <li>・ 文の京の景観の維持・保全へ向けた地域の取り組み支援(ルール化づくり等へ向けた勉強会等の開催支援、普及啓発など)</li> <li>・ 商店街などの統一的な街並み形成(ファサード整備助成など)</li> <li>・ カーボンオフセット付きお土産などの事業展開の支援(助成、専門家の紹介など)</li> <li>・ 店舗等での簡易包装やライトダウン等の推進</li> <li>・ 災害非難場所や救急医療に関する関係機関との連携強化と情報発信の充実</li> <li>・ 食事制限等へ対応できる飲食店等のネットワークづくりと情報発信</li> <li>・ まちあるきマナー向上キャンペーンの展開(ブックレット作成、案内板等の掲示など)</li> </ul>

No.	基本施策	委員より出された事業等
2	区内の回遊性を向上させる 誘導の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● B-ぐる路線の拡充</li> <li>● トイレ(トイレマップ)の整備(再掲)</li> <li>● 交通ネットワークの充実(乗り継ぎの改善) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レンタサイクルの拡充(貸出・返却場所の相互利用可能化、利用案内情報の発信など)</li> <li>・ 商店街の空き店舗等を活用した休憩・案内所の整備</li> <li>・ 駐輪・駐車場や交通機関等に関する案内の充実</li> <li>・ 通りの愛称づくり(マップや案内板等に活用)</li> </ul> </li> </ul>
3	区民や来訪者の交流充実に 向けた環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文の京らしさを感じられるイベントの開催 (歴女サミット、川柳コンテストなど)</li> <li>● フォトコンテストの開催</li> <li>● B級グルメ大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ものづくり体験型観光の推進</li> </ul> </li> </ul>
4	まちあるきイベント等の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「区内観光の日」の設定(観光の日に一斉にまちあるき等を実施) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文京区版オープンハウスの開催(参考:オープンハウス:ロンドンで開催している年に一度一般非公開の建物に入場できるイベント)(再掲)</li> <li>・ 食べ歩きツアーの開催(参考:函館バル街、別府とり天スタンプラリーなど)(再掲)</li> </ul> </li> </ul>
5	MICEの誘致(アフターコン ベンションの充実と誘致)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文京区開催のメリット創出</li> <li>● アフターコンベンションのプログラム策定</li> <li>● MICE向けサイトの構築</li> <li>● MICEコーディネーター機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MICEに活用できる施設の発掘と活用支援(イベント等に活用できる施設の発掘、情報発信など)</li> <li>・ 大学等とのMICEに関する情報共有の促進(大学等への区内施設やアフターコンベンション関連情報の提供、イベント等の開催情報の共有など)</li> <li>・ MICE向け施設や大学等教育機関のデータベース作成</li> <li>・ 大学等と連携したMICE誘致へ向けたプロモーションの展開(大学への区内施設やアフターコンベンション関連情報の提供など)</li> <li>・ MICE推進へ向けた大学や留学生等とのネットワークの構築(留学生に対する区の情報の提供など)</li> <li>・ MICEに併せた区民等によるイベント等開催への支援(コンベンション等の参加者へ向けたイベントの開催の運営資金補助など)</li> </ul> </li> </ul>

※MICE:会議(Meeting)、報奨・研修旅行(Incentive(Travel))、国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event・Exhibition)のこと。会議等の開催により、来訪者の増大や各種分野への経済効果などが期待されます。

### ●取り組みの柱3：観光まちづくりのための情報発信

- ・ 情報収集・整理及び写真等の保存・管理の推進。
- ・ 文京区観光インフォメーションセンターの活用促進。
- ・ 区民や来街者など様々な立場の人にあわせ、旬な情報、わかりやすさ、多言語など情報発信の充実。
- ・ 区民交流の活性化が図れるような地域情報の発信。
- ・ メディアとの連携強化など積極的なPRの推進。
- ・ 多様なニーズに応じた、携帯端末等の活用推進。

No.	基本施策	委員より出された事業等
1	「文京区」の知名度向上へ向けた情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行会社等に対する情報発信の強化</li> <li>● ガイドブックの発行</li> <li>● 観光情報データベースの整理(写真の整理・開放)</li> <li>● 「文京みやげ」のPR(再掲)</li> <li>● 定期刊行チラシの発行(交通機関、図書館、行政施設に設置)</li> <li>● フィルムコミッションを通じた情報発信(再)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文京区を舞台にした文学や映像作品等の情報のデータベース化</li> <li>・ ロケ地などの撮影スポットのデータベース化</li> <li>・ 区内に伝わる「言い伝え」等の情報のデータベース化(区民等から情報を収集)</li> <li>・ 観光モニターの活用(モニターを通じた情報収集・発信)</li> <li>・ 区民“特派員”による情報発信(一定程度の研修等を受けた人を特派員として認定し、観光協会のHP等を通じて情報を発信してもらう)</li> </ul> </li> </ul>
2	ターゲットを明確にした効果的な情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フェノロジーカレンダーの発行(地元人お勧めスポット等の紹介)</li> <li>● ランチマップの発行</li> <li>● 観光名所ハガキの作成・配布(再掲)</li> <li>● 区民や事業者向け情報発信の強化</li> <li>● 外国人向け情報発信の充実(海外のガイドブックへの情報掲載)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者や高齢者向けマップやパンフレットの作成(再掲)</li> <li>・ 小さな子ども連れ家族向けのマップやパンフレットの作成(再掲)</li> <li>・ 姉妹都市(ドイツ)での観光情報の発信</li> <li>・ 留学生等のネットワークづくり(留学生を通じた情報収集・発信)</li> </ul> </li> </ul>
3	メディアの有効活用による「文京区」の積極的なPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フィルムコミッションを通じた情報発信(再)</li> <li>● TV番組等のタイアップの強化</li> <li>● マスメディアとの連携強化</li> </ul>
4	情報通信技術を活用した情報発信の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 携帯電話サイトの構築</li> <li>● 携帯電話向け区内駐車場・レンタサイクル情報の提供</li> <li>● google マップ等への情報掲載</li> <li>● iPhone(iPad)向け情報提供アプリ、まちあるきアプリ開発               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 携帯端末を活用したスタンプラリーの開催</li> </ul> </li> </ul>

## ●取り組みの柱4：観光まちづくりのための人材育成と体制づくり

- ・教育機関と連携した講座の開催等を通じたガイドの育成。
- ・教育機関、商店街、区民等と連携を図り、様々な団体・個人が活躍できる仕組みづくりの推進。
- ・区民等のおもてなしの意識の醸成と次世代の人材育成の推進。

No.	基本施策	委員より出された事業等
1	文の京の魅力を伝える人材等の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校において観光資源や地域の歴史等を学ぶ機会づくり</li> <li>● 観光ボランティアの育成(まちあるきガイド、通訳、イベント企画・運営など)</li> <li>● 活動の機会づくり</li> <li>● 区民向け観光講座(座学やまちあるき)の開催(再掲)</li> <li>・ 文京区にまつわる歴史や文学等の研究を行う人の支援(空き店舗等の場の提供や助成を行うかわりに地域住民等への講座やWS等を実施してもらう)</li> <li>・ 外国人向けおもてなしブックレットの作成・配布</li> <li>・ 留学生向け文京区の歴史や文化講座の開催</li> <li>・ 地域への愛着や誇りの醸成に向けたキャンペーンの展開(再掲)</li> </ul>
2	観光まちづくりに携わる団体・人材の発掘と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フィルムコミッションの運営(再掲)</li> <li>● 観光振興に関する団体の育成</li> <li>・ 区民やNPO法人、事業所、商店街等による提案事業制度の創設(再掲)</li> <li>・ 「観光サポーター店舗」の認定(おもてなし講座受講した店舗や観光案内を行う店舗を認定し、観光まちづくりを支えてもらう)</li> <li>・ 区民や観光まちづくり団体、事業所、商店街等による提案事業制度の創設(再掲)</li> <li>・ 観光イベントの企画・運営への観光まちづくり団体や区民の参画の促進(再掲)</li> <li>・ 観光まちづくり団体等の活動支援(専門家の紹介、活動場所の提供、情報発信、資金補助など)</li> <li>・ 観光まちづくり団体等の交流の場づくり(再掲)(ネットワークづくり)</li> </ul>
3	文の京全体としてのホスピタリティの醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区民や商店街など事業者のおもてなし度向上へ向けた普及啓発</li> <li>● 区民や商店街など事業者のおもてなし度向上へ向けた講座の開催</li> <li>● 区民ならではの文の京の楽しみ方の発信(チョイワルおやじの遊び方指南)</li> <li>● 区民が区の文化や歴史を学ぶ機会(観光講座)づくり(再掲)</li> <li>・ 地域への愛着や誇りの醸成に向けたキャンペーンの展開(再掲)</li> </ul>
4	様々な主体が連携して取り組む体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 隣接区等との連携による広域観光コースづくり(再掲)(池袋の家電販売店、秋葉原と大学院、さくら、巨人(宮崎)、サッカーミュージアム)</li> <li>・ 隣接区との共同事業の推進(情報発信、イベント、人材育成講座、まちあるき、交通など)</li> </ul>

No.	基本施策	委員より出された事業等
		<ul style="list-style-type: none"> <li>隣接区や都などとのネットワークの強化(情報交換の推進)</li> <li>観光イベントの企画・運営への観光まちづくり団体や区民の参画の促進(再掲)</li> <li>観光まちづくり団体等の交流の場づくり(再掲)(ネットワークづくり)</li> </ul>

## ■その他

No.	基本施策	委員より出された事業等
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>新区民を対象としたアンケートの実施(区内の新住民対象に区の観光について調査)</li> </ul>

## ●取り組みの柱6：観光推進体制の構築 ← 全体部分へ組み込み予定

No.	基本施策	委員より出された事業等
1	各主体の役割の明確化と連携による観光振興の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルムコミッションの運営(再掲)</li> </ul>
2	観光協会の体制強化	
3	行政内の観光推進体制の強化	
4	広域連携体制の確立	

## 観光分野に関する既存事業

### ●取り組みの柱1：まちあるきを中心とした資源の発掘・活用・創出

No.	基本施策	既存事業
1	文の京の誇りとなるまちなかの魅力発掘と磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食の文京ブランド 100 選を活用した食べ歩きラリー事業(再掲)</li> <li>○ 観光グッズの販売(文の京ポストカードブック等)</li> </ul>
2	文の京を分かりやすく伝えるストーリー性ある観光コースづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域別にコースを設定した観光ガイド「おさんぽくん」の発行(再掲)</li> <li>○ みどりのウォークラリー(コース整備)</li> </ul>
3	「学び」の要素と連携した文の京ならではの新しい魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文京ミュージズネット施設の活用(シビックセンターに展示)</li> <li>○ 「生涯学習司」、「地域文化インタープリター」養成講座など(再掲)</li> </ul>
4	まちあるきを誘発する「文京ブランド」の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食の文京ブランド 100 選事業</li> <li>○ 下町まつりと文京区伝統工芸会との連携</li> </ul>

### ●取り組みの柱2：まちあるきや交流のための環境づくり

No.	基本施策	既存事業
1	安全・安心でやさしいまちを実現する環境づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文の京都市景観賞</li> <li>○ まち並みウォッチング(都市景観)(再掲)</li> <li>○ 景観条例に基づく協議・指導</li> <li>○ 案内標識等統一化計画の策定</li> <li>○ 福祉環境整備(バリアフリー施設整備に係る指導)事業</li> <li>○ 細街路拡幅整備事業</li> <li>○ 地球環境・バリアフリーを意識した区有施設の整備</li> <li>○ 公園ガーデナー事業</li> <li>○ 文の京ロードサポート(地域清掃)事業</li> </ul>
2	区内の回遊性を向上させる誘導の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニティバス「B-ぐる」の運行</li> <li>○ レンタサイクル事業</li> <li>○ 観光案内板の整備</li> <li>○ 案内標識等統一化計画の策定(再掲)</li> <li>○ まつり会場での観光PR</li> </ul>
3	区民や来訪者の交流充実に向けた環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文京花の五大まつり等まつりの実施</li> </ul>
4	まちあるきイベント等の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 史跡めぐり</li> <li>○ まち並みウォッチング(都市景観)(再掲)</li> <li>○ 自然散策会</li> </ul>
5	MICEの誘致(アフターコンベンションの充実と誘致)	

## ●取り組みの柱3：観光まちづくりのための情報発信

No.	基本施策	既存事業
1	「文京区」の知名度向上へ向けた情報発信の強化	○ 観光インフォメーションの運営
2	ターゲットを明確にした効果的な情報発信の推進	○ 公園の花の見どころカレンダー(区ホームページ) ○ 観光グッズの販売(文の京ポストカードブック等)
3	メディアの有効活用による「文京区」の積極的なPR	○ 新聞社等へのパブリシティ ○ 雑誌への写真等の提供 ○ フィルムコミッションの検討
4	情報通信技術を活用した情報発信の推進	

## ●取り組みの柱4：観光まちづくりのための人材育成と体制づくり

No.	基本施策	既存事業
1	文の京の魅力を伝える人材等の育成	○ 観光ガイド養成講座の開催 ○ ふるさと歴史館友の会 ○ 「生涯学習司」、「地域文化インタープリター」養成講座など(再掲) ○ チャレンジショップ支援事業(空き店舗活用)
2	観光まちづくりに携わる団体・人材の発掘と活用	○ 英語観光ボランティア講座修了者の活用 ○ 地域文化インタープリターの活用
3	文の京全体としてのホスピタリティの醸成	
4	様々な主体が連携して取り組む体制づくり	○ 食の文京ブランド 100 選を活用した食べ歩きラリー事業(観光協会・東商文京支部・行政の連携)(再掲) ○ 「おさんぽくん」の提供(東京都・特別区・谷中コミュニティセンター)(再掲) ○ 案内標識等統一化計画の策定(行政内組織を横断した取組み)(再掲)